

Voice!

VOL.8

中高生版とよかんNews 2018・秋号

発行：伊勢市立伊勢図書館
指定管理者/株式会社図書館流通センター
伊勢市八日市場町13-35 TEL0596-21-0077
http://iselib.city.ise.mie.jp/

今年は猛暑にみまわれました(〜;) 皆さんはどんなアツイ夏を過ごしましたか？
季節は秋。スポーツして、美味しいもの食べて、じっくり本読んで…。
今回の特集は、読書の秋におすすめしたい作品！
すでに愛読者の人、タイトルだけは知ってるという人、テレビで見たよという人、etc…。
刊行110年、今なお魅力あふれる『赤毛のアン』の世界へLet's Go!!

- イワイ**
「アンって、ドイツで屋根裏に隠れてた子か？」
- えーちゃん**
「…アンタ本気で言ってる？」
- ひとし**
「ちがうさ、大草原の小さな子やろ？」
- えーちゃん**
「それはローラ。小さいのは家な」
- 「…そうなんや…」
- 「……(=.=)」

YA世代に贈る、ちょっとだけエンターテインメント『イワイとえーちゃん』(笑)
イワイとえーちゃんと仲間たちの愉快的日常、さーて、今回のお話は…?

イワイとえーちゃん 14

想像の余地アリアリ、の巻



『イワイとえーちゃん』 不定期更新中★
YAコーナーと学習室でも読めるよ～

そもそも、どんなお話なの？

原題は『アン・オブ・グリーン・ゲイブルス “Anne of Green Gables”』
作者は、ルーシー・モード・モンゴメリ。1908年、アメリカの出版社から出版された長編小説。
主人公アン・シャーリーは、やせっぽちでそばかす、なにより赤毛が大のコンプレックス。
でも、持ち前の想像力で、いつも明るく希望を見出しながら生きています。
カナダのプリンス・エドワード島(略してPEI)を舞台に、アンとアンをめぐる人々の、何気ないけれど幸せとハプニングに満ちた日々が描かれています。

グリーン・ゲイブルスとは
アンが暮らす“緑の切妻
屋根の家”のこと

モンゴメリってどんなひと？

アンたちの暮らす
アヴォンリー村の
モデルはココ!

ルーシーモード
L.M.モンゴメリ (1874～1942)

PEI出身の女流作家。生後20ヶ月で母親を亡くし、祖父母と一緒にキャヴェンディッシュの農場で暮らしていました。働きながらコツコツ書いた『赤毛のアン』をいくつもの出版社に送るもボツ続き。あきらめてトランクにしまいこむこと2年、再び売り込んでついに出版！たちまちベストセラーになり一躍有名作家となりました。その後も主婦をしながら、たくさんの作品を執筆します。「ぜひ続きを！」と望まれたアンの続編は、モンゴメリ自身「飽きちゃった」(笑)と言うほど、長きに渡って書き続けられ、アン・シリーズ、アン・ブックスと呼ばれて世界中で愛読されています。

村岡花子さんのこと

NHK『花子とアン』
を見ていた人も
いるでしょう!

『赤毛のアン』を語るのに欠かせないのが、村岡花子さん(1893～1968)
花子さんの翻訳で『赤毛のアン』が日本に初めて紹介されたのは1952年。
戦時中、敵国の本の翻訳を必死で続けていた花子さん。戦争が終わってようやく世の中が落ち着いた頃、出版界から何か新しい外国作品はないかと相談されます。提案してみると、出版しましょう！ということに。さて邦題は…悩んだあげく、娘さんイチオシの『赤毛のアン』に決定！マッシュウの口ぐせ「そうさな」、リンド夫人の「よござんす」、「腹心の友」や「いちご水」など、花子さんの素敵な翻訳がいっぱいです！

個性豊かなキャラクターたち

アン・シャーリー (11歳)



たくましさすぎる想像力と高いテンションに「この子ちょっとイタイな」と思ってしまう人もいると思う。でもその影響力はハンパない!

マッシュウ・クスパート (60歳)



無口で恥ずかしがり屋な善人。アンの魅力に最初にハマった人。少ない言葉の中には、マッシュウのとてつもない優しさがあふれています!

マリラ・クスパート (たぶん57歳くらい?)



マッシュウの妹。クールできちんとした人だけど、だんだんアンとのやり取りがコントみたいになって面白い。実はとっても愛情深い人なんさな。

ダイアナ・バーリー (11歳)



アンのテンションについていける貴重な存在。可愛くてしっかり者。クラスに1人はおるよな。

ガイルバート・ブライス (14歳)



イケメンの素質大で女子に大人気。なのにアンには出会ったその日に絶交される。以後はお互いが常に“気になる存在”に。

赤毛のアン 人生すごろく

いろいろ有りすぎる
アン的人生を
ざっくりすごろくで
...略して



『アン・ブックス』に
続きます!!
(※時系列順)

②『アン青春』 アン(16~18歳)

アヴォンリー小学校の先生になったアン。家族が増えた分、ハプニングも増し増し!

③『アン愛情』 アン(18~22歳)

キャンパスライフを満喫するアン。ロマンスあり、ドタバタありの青春時代!

④『アン幸福』 アン(22~25歳)

大学を卒業したアンは校長先生として赴任。年頃女子としてのアンにもご注目!

⑤『アン夢の家』 アン(25~27歳)

ついにアン結婚! 甘い新婚生活がスタート。結婚って誰と...? あの人です!(^^)

⑥『炉辺荘のアン』 アン(34~40歳)

家族も増えて大きくて素敵な家にお引っ越し! 母として妻として大忙しのアンです。

⑦『虹の谷のアン』 アン(40~42歳)

アンの子どもたちと、仲良くなった牧師さんの子どもたちがメインのお話。

⑧『アン娘リラ』 アン(48~53歳)

末娘・リラは15歳。戦争が始まり、幸せも不幸せもやってくる。それでも前をむいていこう!

※番外編 『アン友達』 『アンをめぐる人々』
アヴォンリー村の人々のお話。

『アン思い出の日々 上・下巻』
モンゴメリの遺作となったシリーズ最終巻。

アン特集、いかがでしたか? 主人公が女の子だから『赤毛のアン』は女子が読むもの、と思ってる男子も多いんじゃないかな? そんな男子たちに、脳科学者・茂木健一郎さんのお話を紹介します。茂木さんとアンのお出会いは小5の時。すっかりハマってシリーズはもちろん原書まで読んだ茂木さん。でも恥ずかしくてずっと隠れファンだったそう。アンを読んで、「繊細な女子の気持ちが少しでも理解できるようになった。だから男子にも読んで欲しい!」って。なるほど~! そういう目線で読むのも面白いかも!

【YA・伊勢図書館】
@IselibYa

Twitterやってます!
フォローしてね~♪

伊勢市立伊勢図書館
指定管理者/株式会社図書館流通センター

- 参考文献
- 『赤毛のアン』 L.M.モンゴメリ/著 村岡花子/訳 ポプラ社 (933/モ)
 - 『アンゆりかご 村岡花子の生涯』 村岡恵理/著 マガジンハウス (910.26/ム)
 - 『赤毛のアンの世界へ 素敵に暮らしたいあなたへの夢案内』 学研 (930.28/ア)
 - 『図説赤毛のアン』 奥田実紀/著 河出書房新社 (933.7/オ)
 - 『永遠の「赤毛のアン」ブック』 奥田実紀/著 集英社 (933.7/オ)
 - 『「赤毛のアン」が教えてくれた大切なこと』 茂木健一郎/著 PHP研究所 (933/モ)